

保護者等向け 評価表

公表日： 2025年06月01日

事業所名：保育所等訪問支援 Rasisa

対象人数（保護者）17人 回答者数 15人 回収 88.2%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない わからない	いいえ
環境・体制整備	① 子どもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思えますか。	15		
	② 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	15		
	③ 事業の目的が適切に説明されていると思えますか。	15		
	④ 療育施設には、プライバシーに配慮された面談室等が整えられていますか。	15		
適切な支援の提供	⑤ 子どものことを十分に理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、個別支援計画が作成されていると思えますか。	15		
	⑥ 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がありますか。	12	3	
	⑦ 子どものことを十分に理解し、子どもの特性に応じた専門性のある支援が受けられていると思えますか。	15		
	⑧ 保育所等訪問支援計画作成に当たり、訪問先施設や担任等と情報交換がされていると思えますか。	15		
	⑨ 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思えますか。	15		
	⑩ 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思えますか。	14	1	
保護者への説明等	⑪ 事業所を利用する際に、運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	15		
	⑫ 必要なときに子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていると思えますか。	15		
	⑬ 定期的に面談や、子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	14	1	
	⑭ 子どもや保護者と意思疎通や情報伝達の為の配慮がなされていると思えますか。	15		
	⑮ 保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備されているとともに、保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	15		
	⑯ 定期的にHUGやLINE等で活動概要や連絡体制の情報等、業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	15		
	⑰ 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	15		
	⑱ 事業所の職員から共感的に支援をされていると思えますか。	15		
	⑲ 事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思えますか。	15		
	⑳ 保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思えますか。	15		
	㉑ 個人情報の取り扱いに十分配慮されていると思えますか。	15		
非常時等の対応	㉒ 事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思えますか。	15		
	㉓ 事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思えますか。	15		
満足度	㉔ 事業所の支援に満足していますか。	15		
	㉕ 子どもは訪問支援を楽しみにしていますか。	15		

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日				
Rasisa		2025 年 6 月 1 日				
		利用児童数				
		2025年 5月 10日 回収数 2				
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的にわかりやすく、取り入れやすいものですか。	2				
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	2			・ 保育者の立場でも様々な事を見ていただいたので、イメージが共有しやすかった。 ・ 質問した事には応えていただいていますので現時点では満足しています	・ 保育士経験が長い職員が多数いるので、現場にとって分かりやすく実践的な情報提示を今後も心掛けていけたらと思います。
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	2				
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	2			・ すぐに共有できたので、利用児童の困りごとに対応しやすくなった。解消しつつある。	
5	事業所からの支援に満足していますか。	2			・ 回数多く訪問していただけることは日常の姿、対応を共有しやすいので有難いです。	
その他のご意見				ご意見を踏まえた対応		
・ 通い始めてから、成長した部分が多くみられるようになりました。集団とは少し離れ、本児のやりたい活動を十分にできる環境がある事はとてもいい事なんだと感じます。ニコニコした表情で帰ってくるのが毎回来しめです。 ・ 遊びの様子、子どもの姿、保育者のかかわり方等、直接的に伝えていただく事は日々の保育対応において、保育者の認識、行動に大いに影響を与えました。これまでの対応（例：子どもの背中を撫でる、カルタ遊び等々・・・）でも、その意味、効果などを実感できています。具体的に説明していただき、また話しやすいこともあり、ありがたく思っています。				・ 訪問支援を快く受け入れていただきありがとうございました。 どの訪問先でも、先生方に温かく迎えられているからこそ、有意義な情報交換ができたのではないかと思います。 今後も個々にとって最善の環境調整・支援はどのようなものがあるか、Rasisaで持っている情報を多く提供させていただきながら、『一人ひとりにより良い』を目指していければと思います。		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		Rasisa					公表日	2025 年 6 月 1 日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点			
体制・業務改善	1	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	5						
	2	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5						
	3	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5						
	4	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	1	研修の機会、種類がまだまだ不足している。	年間研修計画を基に、受けられる研修の回数を増やし、幅を広げていく。			
適切な支援の提供	5	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	5		訪問先に行き、担任からのアセスメント情報も反映した所での計画づくりを行っている。				
	6	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5						
	7	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	5						
	8	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5						
	9	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	2	インフォーマルなアセスメントでは様々な情報を集め、子どもを見立てる事に重点を置いた。フォーマルなアセスメント視点が不足している。	今後フォーマルなアセスメントも取り入れ、より多角的に子どものアセスメントを行っていく。			
	10	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	1	毎日打ち合わせを行っているが、その日行われる支援内容や役割分担の確認等、不足している所がある。	再度業務手順を明確にしながら、確認事項や役割分担などを明確にすることで、認識を深めていく。			
	11	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5						
	12	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	5						
関係機関の連携	13	毎回の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5						
	14	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5						
	15	地域の保健、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5		他事業所や保育、教育関係との連携を行っている。 進学に向けての情報提供を行う。	関係機関との連携幅をより伸ばしていく。			
	16	就園・就学時の移行の際には、保育所等や学校との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5						
	17	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5						

保護者等への説明等	18	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5			
	19	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	5			
	20	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	5			
	21	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		必要に応じて柔軟な形で面談を設けている。	
	22	保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5			
	23	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	3	2	LINE・HUG等の媒体を使って活動概要や連絡体制を整え情報発信を行っている。	現在準備段階のHPの活動と、そこでの情報発信。
	24	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5			
	25	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5			
訪問先施設への説明等	26	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	5			
	27	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	5			
	28	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5			
	29	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	5			
非常時等の対応	30	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	2	周知という点が不足していた。	今後HP等で公開していく
	31	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5			
	32	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5			
	33	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5			
	34	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5			

公表 事業所における自己評価総括表

○事業所名	Rasisa		
○保護者評価実施期間	2025年 2月 24日 ～ 2025年 3月 15日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17	(回答者数) 15
○従業者評価実施期間	2025年 2月 24日 ～ 2025年 3月 15日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○訪問先施設評価実施期間	2025年 3月 1日 ～ 2025年 4月 15日		
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	2	(回答数) 2
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 5月 1日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・多様な資格を持った職員がいる事と、保育士経験が長い職員が多数いる事。	専門的な言葉ではなく、現場職員が理解しやすい、実践しやすい支援の説明。	・施設職員の知識拡充。
2	・支援先には同法人施設もあるので、連絡調整が行いやすい。	・定期的な訪問支援の中で、何気なく情報交換を行う事。 ・訪問支援で得た児童の情報や見立てを文面化し、訪問先に伝えている。（文面化することで、訪問先の職員全員がその情報に目を通せるようにしている。）	・継続
3	・他事業所との連携を積極的に行っている。	・意識的に連携の機会を設ける事。 ・積極的に様々な機関との連携に足を運んでいる。	・より多様な機関と連携を図るために、まだ関わっていない機関との連携を図っていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・事務作業時間の消化の仕方 （業務手順が不明確な所がある。）	・朝、昼、夕の時間で業務手順が不明確な部分あり。 ・事務作業時間をどのように効率よく使っていくのかが不明確な部分あり。 ・支援内容のすり合わせと情報共有	・毎週月曜の職員会議の時間の毎回の定例に週・月の療育の見直しを持たせられる時間を組み込む。 ・朝・昼・夕の事務連絡時間と業務手順を再度明確に打ち出し、職員同士の認識をすり合わせていく。
2	・職員研修機会の不足	・研修機会の充実と共に、認識が不足している領域のアップデート（ST・OT・PT） ・既存マニュアルに対しての周知、確認が不足している。	・年間研修計画の見直しと共に、障害児通所支援領域でのスキルアップのための研修費を保証。 ・定期的に各種マニュアルの確認、読み合わせを研修時間と並行して行っていく。
3	・多角的な情報発信	・Rasisaの活動概要を知らせるツールが限定的なものになっている。 ・HPの作成が行われていない。	・HP作成、Googleビジネスアカウント等を活用しながら、Rasisaの事業概要や取り組みが様々なツールより周囲に伝わっていくようにしていく。